広報あいかわ
発行所
秋田県北秋田郡
合川町役場
（役場総務課 T 4
公民館 T 44）

全町耕地整理の実現へ

＝促進委員会を設置＝

町では、農業振興の基盤である土地条件を整備するため、合川町耕地整理促進委員会を設置することになった。

国の経済が急テンポで発展上昇しているなかで、ひとり農業部門の所得伸長が少なく、このままでは他産業との所得格差がますますひらくという大きな社会問題となり、去る三十八通常国会でも農業基本法をめぐって与野党が激しく論争したことである。

最近の営農実態は、とみに機械化が進み、また所得の増大をはかるには稲作を中心としながらも、畑作、畜産、果樹などと多角化が必至とされており、労働力の調整の点からも耕地整理は望まれるところであり、耕地に大きな転換をもたらす画期的な事業であって、この促進委員への期待は大きいものがある。

町経済課がまとめた合川町耕地整理促進要綱によると促進委員には

❶農業を営むもの
❷町議会議員
❸町農業委員
❹町内農協役職員
❺農業共済組合役職員
❻土地改良区役職員
❼部落委員
❽青年および婦人
❾学識経験者

のなかから町長が推せん委嘱することになっている。事業のための基本調査費は町が負担することになり、水系別組織の確立をもって予算措置されることになっている。

ことしの町民体育祭

7・3 北地区グランドで

町の合併を記念する恒例の町民体育祭が、ことしは七月三日午前九時から北地区記念グランドで行なわれることになった。

第七回をむかえる町民体育祭の開催について、体育協会、小中学校代表など関係者がこのほど会議を開き、次のような開催要項を決定した。

町づくりの推進力を養う町民みんなの体育レクリエーションの日とし、たくさんの人々が参加するよう望まれている。

開催実施要項は次のとおりである。

▽日時　七月三日午前九時
▽場所　北地区記念グランド
▽主催　合川町体育協会
▽主管　合川町
▽種目
○保育所＝一種目（地元だけ）
○小学校＝五種目（学校対抗）
○中学校＝五種目（学校校舎対抗）
○青年会＝五種目（部落対抗）
○婦人会＝四種目（地区対抗）
○伝習農場＝一種目
○消防団＝一種目（分団対抗）
○一般＝五種目（❶部落対抗年令別リレー、❷職場対抗リレー、❸綱引き（地元老人対低学年）❹あめ食い競走（五〇才以上）❺夫婦二人三脚）
▽部落対抗年令別リレー　チーム編成は千米、一人百米とし十人一組とする。
二一～二五才、二六～三〇才、三一～三五才三六～四〇才、四一～五〇才の各男女一人ずつ計十人。
▽あめ食い競走は五〇才以上の男女
▽夫婦二人三脚は夫婦でなければいけません。
▽当日開催の場合は、午前六時にノロシで合図する

保険料を納めるには

国民年金　かけ捨てになりません

去る四月一日から国民年金制度が全面的に実施され、国民皆年金への第一歩をふみ出した。

この制度は、私たちが年をとったり、中途で身体障害者になったり、あるいは一家の仕き手が死亡したときに、それぞれ年金をもらえるように月々かけ金をかけて行くもので、私たちの将来の生活を守るのに役立つ大切な制度です。

いよいよ四月分から掛金をかけていただくことになるので、その方法などを係へ聞いてみた。

問　四月分から掛金をかけてもらうことになるが、実際どういう方法で行なうのか。

答　四月一日から制度が全面的に実施されたので、四月分から掛金を納めていただくわけです。

かけ金の額は
二〇～三〇才…月一〇〇円
三五才以上　…月一五〇円

かけ金をかけるには、各お手許に交付している国民年金手帳に国民年金印紙をはって三ヵ月に一度役場の検認（スタンプ）をうけることでよいわけです。

問　印紙はどこで売っていますか。

答　国民年金印紙は役場と支所の窓口で売っています。

問　さきほど三ヵ月に一度役場の検認をうけるということでしたが、それはどういうことですか。

答　それは納める期限によっていえることで、

第一期分（四、五、六月分）七月末日まで
第二期分（七、八、九月分）十月末日まで
第三期分（一〇、一一、一二月分）一月末日まで
第四期分（一、二、三月分）四月末日まで

となっていますが、毎月一ヵ月分ずつ分割して納めることもできますし、一年から十年までの希望年数、または全期間を前納することができます。

この前納には割引きあがり有利です。

問　よく中途で死亡したときは保険料のかけ捨てになるのではないかといわれたが。

答　保険料がかけ捨てになるのではないかというひろい方面からの声にこたえて、拠出制国民年金の新らしいしくみの一つとして、死亡一時金の制度ができました。

それから希望すれば六十才からでも老令年金がもらえるなど制度が改正されました。

恩給法等一部改正

旧軍人軍属を戦地加算

さきの国会で恩給法等の一部改正法案が可決され、旧軍人軍属の戦地加算が終戦前の恩給法のように認められることになった。

改正の第一は、旧軍人恩給戦地加算年の算入を三十七年度から実施すること。第二は本年十月から次の資格者の遺族に普通扶助料を支給するというものである。

この該当者の資格有無の基礎は

❶旧軍人恩給年限＝下士官以下加算を加えて十二年以上、准士官以上加算を加えて十三年以上、また旧軍人、旧軍属にも加算が認められている。

❷戦地加算付加区別は、各人の履歴につき検討することになるが、該当者が審査の対象となるのは

（イ）終戦前支那、満洲にだけ四年以上従軍した人
（ロ）右以外の大東亜戦争外地地域にだけ三年以上従軍した人
（ハ）これらの地域と無加算地域の実役とを通算して所定の恩給年限に達する人
（ニ）旧日本領有地域のうち千島列島（十九年二月一日～二十年九月二日）小笠原諸島（十八年五月十三日～二十年九月二日）は加算が認められる。

その他の日本領有地域の戦地外戦務は、目下認められない。

（ホ）終戦後、外地に抑留された期間等は実役分として通算される。

電気工事士の認定

電気工事士法によって電気工事士の認定試験が行なわれます。

認定をうけようとする者は認定申請書に証明書類および履歴書をそえて知事あて提出することになります。

◇試験の期日七月二十三日
◇試験の場所＝秋田工業高等学校
◇受験の受付＝六月三十日
秋田県産業労働部商工課（秋田市川尻）
◇その他＝詳しいことは町経済課へ問合わせ下さい

馬伝貧検査日程きまる

ことしの馬伝貧検査が七月三日から八日まで行なわれます。

この伝貧（でんぴん）は馬にとっては命とりであり、年々厳重な検査を行なってきた結果、真症馬はほとんどいないようになったが、町内の馬飼育者が必ずこの検査を受け、伝貧から馬をまもりましょう。なお、手数料が一頭につき百円、五才以下の馬には脳炎予防注射料が二百円かかります。

◇伝貧検査日程

七月三日＝南小学校前（杉山田、雪田、鎌沢、三木田、摩当、三里、大内沢）
七月四日＝合中西校舎前（芹沢、東根田、西根田、李岱、福田、新田目、羽根山、羽立）
七月五日＝北小学校前（八幡岱、木戸石、増沢、美栄）
七月六日＝東小学校前（上杉、道城、桃栄、梅栄）
七月八日＝東中学校前（川井、下杉、金沢、弥栄）

体育指導委員五氏きまる

県では昭和三十二年度から体育指導委員を選任し、生活に直接結びつく体育レクリエーションの振興をはかっているが、このほど任期満了となり、改めて次の五氏を任命した。

疋田参良（木戸石）
和田勇治（上杉）
松橋久郎（大内沢）
佐藤孝俊（李岱）
佐藤昌明（川井）

銃砲刀剣類の登録審査日程

ことしの銃砲刀剣類の登録審査が次の日程で行なわれるので、未登録のものの所有者はこの機会に登録をすませてください。

登録の手続きは、会場に現物、印鑑　手数料（百五十円）を持参すれば審査をうけることができる。

未登録のまま所持すると銃砲刀剣類等所持取締法違反になります。六月二十七日＝大館中央公民館

"けし"栽培は十分の注意を

あへん法で禁止されているけしの不正栽培があとをたたないため、県と県警察本部では六月一ぱい"けしの不正栽培防止運動"を行なっている。

これは、観賞用のオニゲシヒナゲシ以外のけし栽培を禁止するものである。

▼オニゲシやヒナゲシは植えてもさしつかえありませんが、これ以外のけしは観賞用に植えても「あへん法」で罰せられます。

▼オニゲシやヒナゲシの種子の中に禁止されているけしの種子が混じっている場合もありますから、購入した場合注意が必要です。

▼植えてよいけしかどうか判断がつかないときは、ご連絡してください。

六月から新しい郵便料金で

◎第四種郵便物（通信教育のもの）四円、盲人のためのもの）無料、（農業用植物種子など）二円
◎第五種郵便物（一～四種以外のもので開封したもの）十円
◎速達料金　通常もの三十円
◎書留料金（現金）四十円、二千円ごとに五円づつ追加

町内各郵便局

一日から郵便物の料金が変ります。第一種（手紙）と第二種（はがき）はいままでどおりで変りありませんが、その他の郵便物の料金が次のように変りますから、お間違いのないようにしてください。

もし、いままでの料金で差出しますと、先様の方で不足料金の倍額を出さなければなりません

◎第三種郵便物（月三回以上発行の定期刊行物で一日分または一部）二円、（右記以外のもの）六円

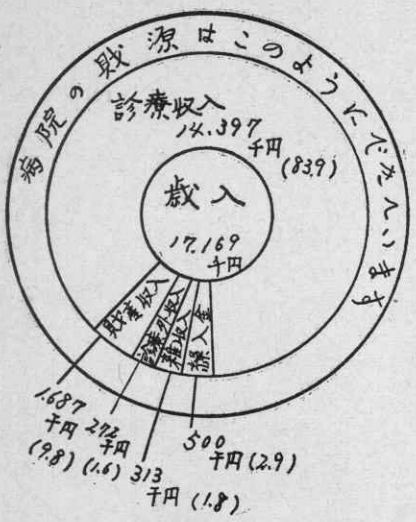
町政メモ

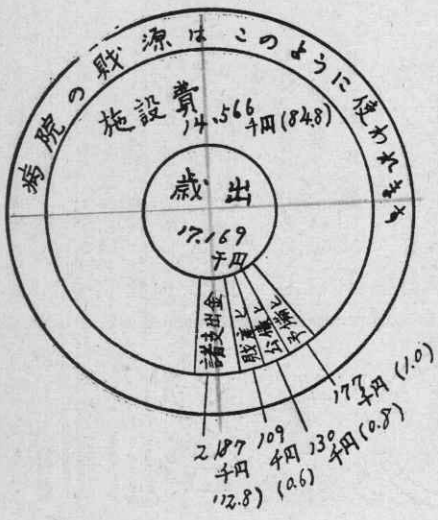
5月26日　町家畜振興会の総会
27日　町連青役員会
29日　婦人会役員会開く
30日　教育委員会の定例会
31日　農業委員会
6月5日　農業委員会
8日　災害復旧工事事務検査
12日　東地区部落代表者協議会
15日　町民体育祭打合せ会

ことしの予算③

◇国保診療施設特別会計◇

（町立合川病院会計）





町民の健康保全をはかる医療センターとして大きな役割を果している町立合川病院特別会計予算を調べてみましょう。

この会計予算は診療収入によって人件費など施設をまかなう独立採算がたてまえですが，町民への医療サービスの点から一般会計からの繰出金が計上されている。

福祉大学を開校

社協　明るい町づくり

町社会福祉協議会では、学習を通じて町民の教養をたかめ、健康で明るい地域社会づくりをしようと「福祉大学」を設置することになった。

この福祉大学は、七月二日から二十三日までの土曜日日曜日の七日間東中学校で行なわれ、一般教養のほか社会福祉の知識、県政や町政のなりたち、レクリエーションを行なうもので、講師は秋田市美術館長奈良環之助氏や秋田大学教授陣など十八人が予定されており田植え後の除草や管理などでなお忙しい時期であるが県内でもはじめての試みであり、この機会をのがさず多数受講して有意義あらしめるよう期待されている。日程は次のように計画されている。

七月二日(日)＝第一日
開校式、社会教養＝楽しい家庭（県社協三浦事務局長）家庭レクリエーション（児童会館佐藤主事）

七月八日(土)＝第二日
保健衛生＝百歳までの招待（堀江県公衆衛生課長）老人道徳＝老人問題百面相（秋田市藤田けい山）猿倉人形劇（吉田千代勝）

七月九日(日)＝第三日
教養＝婦人の生活史（日赤県支部七尾事務局長）精神衛生＝心の健康（秋田大学中村助教授）すぐおどれる民ようの手ほどき（西地区婦人会長成田シゲ）

七月十五日(土)＝第四日
児童福祉＝子供と社会（横山県婦人児童課長）社会常識＝時の話題（秋田魁沢石社会部長）

七月十六日(日)＝第五日
史話＝阿仁の歴史（秋田市美術館長奈良環之助）家庭倫理＝家庭教育者としての老人（秋田大学工藤助教授）＝体操＝保健体操（県指導主事）

七月二十二日(土)＝第六日
家庭相談＝民主家庭と法律（相馬準一弁護士）社会福祉＝明るい町づくり（町社協副会長松橋由於）県政＝秋田県政（県総務部）

七月二十三日(日)＝第七日
福祉行政＝わが郷土の福祉行政（町長畠山義郎）討議＝社会人としてのあり方（司会助役金田英知）閉校式＝修了証書授与。

セキリ予防は手洗いが第一

赤痢はことしに入って、県内各地で散発的に発生しており、最近の発生状況をみると〝赤痢は夏の伝染病〟というこれまでの考え方はくつがえされ、冬から春にかけ、しかも集団発生している現状です。

そこで、この恐しい赤痢を防ぐにはどうしたらよいかどんな注意が必要か、町立合川病院長中川原病院長にいろいろ聞いてみた。

○どうして伝染するのか

赤痢菌の伝染経路は、患者や保菌者の排便内の赤痢菌が口から入るために発生するもので、経口伝染がはっきりしているにもかかわらず、赤痢が多いのは外出後油断して手洗いを怠ったり不潔にしておく人があんがい多いからです。

○最も多い伝染例は

赤痢の最も多い伝染例は、料理人の手を通して食べ物に入る場合で、昨年の大館市のトリメシ事件や、ことしの尾去沢町の学校給食赤痢などがあります。

次ぎに多いのは、井戸や水道の飲料水を通じて伝染する場合ですが、ことしの集団赤痢発生には、この例が多く、秋田市下浜八田部落由利郡大内村岩谷地区、鳥海村の集団赤痢発生は、いずれも簡易水道の不完全が原因となっています。

○最良の予防方法は どんなことか

私たちの周囲には多くの赤痢菌が所在していることがわかりますが、赤痢菌をもっていても、病巣が小さかったり、体の抵抗力が強い場合、症状が現われないという健康保菌者がかなり増えているものと推定されます。

このはんらんする赤痢菌を防ぐには、すべての人が便所から出たら必ず水道などの流れ水で手をよく洗うことが最もよい予防ですから町民のすべてがこの手洗い励行を実行してもらいたいのです。

みとめられる嫁に

若妻研修会に参加して

先月の初め大館市大滝温泉五輪荘で県北の若妻を主体にした婦人団体役員研修会が開かれ、私たちも公民館の取り計らいで参加させていただきました。

同じ世代のしかも若妻という共通な広場をもった人たちが一堂に集まり、意見の交換をしあったのです。

私たちの若妻会は、歴史が古いのですが、集まった多くはこれから若妻会や、学級をつくろうとしているところが多かったようです。

しかし中には、八竜村や琴丘町のように三十五、六歳までのグループが農協を中心に副業に取り組んだり、農業技術を学習したりして積極的にやっているところもありました。

私たちの会のように、三十歳までと年齢制限をしているところはあまりありませんでしたが、婦人会との関係もありますし、この方が良いと感じました。

教育庁の大里先生も、年齢は三十歳位までの方が望ましいと話していました。

私たちの生活は、古い封建的な家庭生活から新しい近代的な家庭生活に変りつつありますが、それは精神的にも物質的にもいえることだと思います。

そこで私たちは、あらゆる面で学習を深めていかなければなりません。

それに戦後強くなったのは「クソシタ」と「女」だ、といわれますが、私たちのたちばは、まだまだ日があたっていないのが実状でないでしょうか。

私たちは、お互い手をつなぐことを知りました。

若いもの同志が団結し、一人で解決できないことを皆んなで相談し解決していくこれが私たちの若妻会の本当の姿だと思います。

若妻学級では、健康で楽しい社会、明るい家庭をつくるための学習をやっていますが、この会にでてくる嫁たちの表情は大変明るいものです。

姑さんや夫の理解と協力のもとに若い「嫁ッコ」の解放が一歩でも前進していることは、私たちにとって何よりも嬉しいことであります。

このご好意を忘れず、私たちは「認められる嫁」になることをお誓いしてご報告にかえたいと思います。

松橋ミエ（道城）
工藤紀子（上杉）
（東若妻学級むつみ会員）

三陸大火義援金募集

台風四号の余波をうけ、五月二十九日、三十日青森県八戸市、岩手県宮古市、田老町など強風下の大火の大惨事が発生し、死傷者一六〇人、全焼一、三九七棟、一、四六三世帯、七、八四六人の罹災者を出し、その損害約一〇〇億円といわれ罹災者の惨状は目をおわしめるものがあるといわれ、日本赤十字秋田県支部、秋田県社会福祉協議会等県民の同情に訴え、義援金品を募集しております。

本町でも日赤奉仕団、婦人会の協力を得て義援金品の募集をいたしますので、町民各位のご協力を願います

募集期間＝六月三十日
受付＝町社会福祉協議会

腸チブス予防注射日程

町では接種無料の腸チブス予防注射を行ないます。

カ、ハエのいない環境づくり各種予防接種など伝染病の予防は連年努力しているが、ことしはすでに腸チブスに二人の患者が発生したこれから伝染病の発生する時期をむかえ、町民課が中心となって伝染病予防対策を講ずることになっているこのほど次の日程で腸チブス予防注射を全町にわたって行なうので皆んなそろって接種を受けてください。

六月二十一日＝鎌沢保育園
杉山田、雪田、鎌沢

六月二十二日＝南支所
三木田、摩当、三里、大内沢

六月二十三日＝根田保育園
芹沢、東根田、西根田

六月二十七、二十八、二十九日＝合川病院
西地区一円および川井

六月二十八日＝北分院
北地区一円

七月十四日＝東小学校
東地区一円（川井除く）

成田さんが入賞

春の赤ちゃんコンテスト

県と、秋田魁新報社共催のことしの赤ちゃん保健コンテスト終審査は、五月三十一日午後一時半から秋田保健所で行なわれた結果、本町から参加した成田テルさん(三)＝李岱が母親労力賞に入賞した。

この最終審査へ本町から三人の赤ちゃんと生まれつき弱い赤ちゃんをじょうぶに育てた母親一人が参加したもの。

この表彰式は十五日秋田市の県農業会館大会議室で行なわれる。

農地相談

田畑をつぶす手続はどうすればよいか

問　田畑に建築物を建造するにはいろいろ手続きが必要だといわれているが詳しくお知らせ下さい。

答　田畑は農地法によって農地として統制しているので、自分の田畑であっても農林大臣、又は知事の許可がなければ農地以外に転用できません。

転用したいというときは転用日の三カ月前に次のことがらを記入した申請書を農業委員会へ提出することになります。

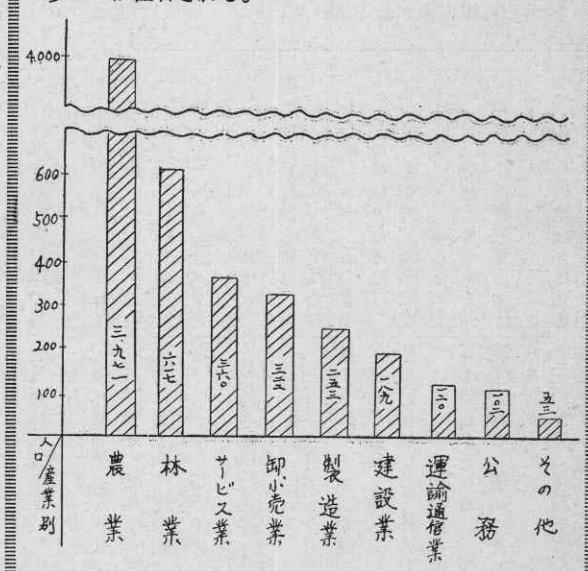
❶申請者の氏名、住所、職業
❷転用する土地の地番、地目、面積、利用状況作物の収穫高
❸転用するために支払うべき給付の種類、内容相手方
❹詳細な転用の事由
❺転用の時期、転用目的に係る事業又は施設の概要
❻付近の土地、作物、家畜等の被害防止施設の概要

外に転用する土地の登記簿謄本（登記所で交付）位置及び付近の状況がわかる図面、転用土地の図面、建物又は施設の面積施設間の距離を示す図面

グラフで見る合川町

④ 産業別の人口

国勢調査の産業別人口すなわち就業人口は5,970人，町人口の49%であるが，この内容をグラフにしてみた農業が圧倒的に多く3,971人と67%を占め，次の林業が617人の10%，サービス業が360人の6%と三番めに多いのが注目される。



◇それは○○○です◇

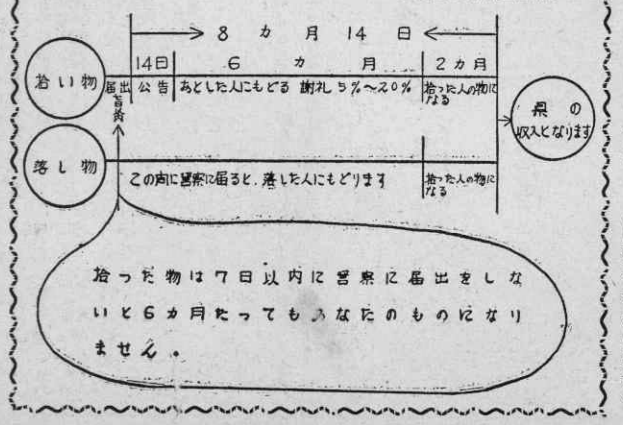
ヒント　8カ月14日の寿命しかありません

暑さに向い落しもののふえる時期となりました。そしてそのみつからない時の悲しみ，またもどった時のうれしさ，いずれにしても落さぬことが一番です。

拾った人が警察へ届けてくれるのはもちろんのことですが，おとした人もあきらめずにすぐ警察へ届けて頂ければたいていお手元に物がもどるはずです。

この落し物，拾い物の警察での取り扱いは次のとおりです。

合川町警察官駐在所



二級技能検査を受けよう

大工、左官など

◇検定職種　機械工、仕上工、板金工、建築大工、左官
◇試験の期日　板金工、建築大工、左官＝七月二十三日(日)、機械工、仕上工＝七月三十日(日)
◇試験の場所　秋田市、大館市、横手市
◇受験申請の受付　六月三十日まで
◇くわしいことは役場経済課職業係へ問合せ下さい

慶弔だより

自　五月一日
至　三十一日

出生（一五名）

畠山ひとみ、道城多一郎孫
永井信夫、上杉、松夫二男
和田富貴子上杉多四郎二女
関由美子、上杉、喜之助孫
工藤正人、上杉、京造長男
庄司誠、駅前、直蔵、孫
吉田良子、川井、易太郎孫
高橋信子、八幡岱伸二長女
近藤志保子、李岱志郎長女
梅田秀子、羽立、由五郎孫
伊藤祥、杉山田、常五郎孫
戚田暢、大内沢、佐五郎孫
福田曰雄、芹沢、竹蔵四男
森岡久美子東根田三五郎孫
金森智子西根田富美夫三女

死亡（八名）

和田富貴子上杉多四郎二女
工藤優子、上杉、政五郎孫
斎藤キエ、駅前、慶助、母
松岡勝二、駅前、本人
村形貴子、川井、助吉、孫
相馬広志、八幡岱長一長男
松岡孫蔵、羽根山、本人
加藤貞一郎、鎌沢、本人

あとがき

ことしの田植えもほとんど終り、これから除草にかかる農家の人たちはご苦労です。

草除も薬剤除草がうんと行なわれているがPCPなどは物動に有害だといわれ、事故をおこさぬよう注意が肝心。

町民体育祭の実施要綱がきまった。ことしは国体の年でもあり、町の人たちみんなが参加して大会をもりあげたいものだ。

（広報係松橋主事補）